

# 井の頭恩賜公園花便り



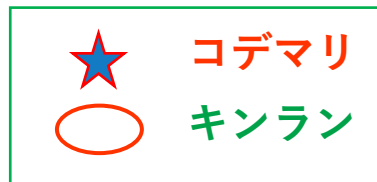
## コデマリ ~バラ科~

枝の先に15~20個ほどの白い小さな花が、傘の骨のように集まって咲き、この集まりが小さな手毬を連想させることから「小手毬（コデマリ）」と名付けられました。弓なりに伸びる枝に多くの花が連なるとその重みで枝が垂れます。耐寒性・耐暑性があり、日本全土で広く栽培されています。



## キンラン ~ラン科~

花は1cm程度で、完全に開かず「半開き」の状態、上を向いて咲きます。小さな花ですが、新緑の雑木林の中では鮮やかに光輝くキンラン（黄金色）が非常によく目立ちます。多年草でブナ科やマツ科の樹木の根元近くに生育し、30~70cmほどの高さになります。これらの樹木の根に寄生する菌類が作る養分を得て生きています。ところがこの条件が整っていても下草が密集し伸びると、背丈の低いキンランに光が届かなくなり光合成ができないため草刈りも必要になります。



ひゃくさいくん



花便りに関するご質問は  
井の頭恩賜公園案内所

(TEL0422-47-6900) までお問い合わせください